



あいちビジョン
2030

暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち
～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～

はじめに

本県は、2008年以降の世界同時不況や2011年の東日本大震災など我が国が直面した危機に際して、日本の成長エンジンとしての役割を担い、我が国が危機を乗り越えるための原動力となってきました。こうした中、本県の経済は、製造品出荷額等では42年連続日本一（2019年時点）、県内GDPでは、2015年に大阪府を抜いて全国第2位となっています。

将来を展望いたしますと、今後も起こりうる感染症や近年、益々激甚化している風水害など安全・安心に対する意識が高まっていく中で、我が国全体の人口減少の進行とともに人生100年時代ともいうべき長寿社会の到来が予想されています。また、グローバル化や第4次産業革命の進展に伴い、産業構造のみならず人々の働き方も大きく変わるものと考えられます。さらに、リニア中央新幹線の全線開業により、本県は、三大都市圏を包含するスーパー・メガリージョンの中心に位置することになります。

このビジョンは、このような将来の展望のもと、2030年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す、愛知の地域づくりの基本となるものです。

目標年度の2030年度に向けては、ジブリパークやアジア競技大会、リニア中央新幹線など数多くのビッグプロジェクトを着実に進め、地域の更なる発展につなげていくとともに、これらを最大限活かして、イノベーションを創出する好循環を生み出すことで、将来にわたって、日本の成長をリードし続ける愛知を形づくっていかねばなりません。また、ビジョンと目標年度を同じくするSDGsの達成に向けて、暮らし・経済・環境の3側面の調和を図り、持続可能な社会を実現していく必要があります。そして、そのためには、現在、県民の皆様の生活や経済活動に深刻な影響を与えている、新型コロナウイルス感染症の克服に全力で取り組み、世界同時不況、東日本大震災に続き、我が国が直面するこの未曾有の危機を三たび、乗り越えていかねばなりません。

こうした思いを込めて、「危機に強い愛知」、「すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」、そして「世界から選ばれる魅力的な愛知」といった将来のめざすべき姿を設定した上で、2030年度に向けた基本目標を「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち～危機を乗り越え、愛知の元気を日本の活力に～」といたしました。

この目標に向けて、県民の皆様を始め、国、市町村、企業、各種団体など、関係の方々とともに、地域づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

愛知県知事
大村秀章



目次

「あいちビジョン2030」について

I 2040年頃の社会経済の展望

1 感染症・災害・犯罪リスクの増大	2
2 人口減少の進行、人生100年時代の到来	2
3 暮らし・労働・学びの多様化	4
4 共助社会の必要性の増大	4
5 世界経済の多極化、経済重心のアジアへのシフト	5
6 世界的な人材獲得競争の激化	5
7 第4次産業革命の進展	6
8 スーパー・メガリージョンの形成	6
9 都市のスポンジ化、高齢インフラの増加	7
10 脱炭素化の進展、循環型社会への移行	7

II めざすべき愛知の姿

1 危機に強い愛知	10
2 すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知	11
3 イノベーションを創出する愛知	12
4 世界から選ばれる魅力的な愛知	13

III 2030年度に向けた基本目標

1 基本目標	16
2 進捗管理指標	17

IV 地域づくりの推進に当たっての横断的な視点

1 現下の危機の克服と中長期を見据えた地域づくり	20
2 ビッグプロジェクトの効果を最大限に活用	21
3 SDGsの達成への貢献	22
4 多様な主体との連携・協働	23
5 自立した持続可能な大都市圏の実現と分権型社会の構築	23

V 重要政策の方向性

- 1 危機に強い安全・安心な地域づくり 26
 - ・新型コロナウイルス感染症の克服
 - ・新たな大規模感染症リスク等への対応
 - ・ハード・ソフト両面からの防災・減災対策
 - ・安心して暮らせる地域づくり

- 2 次代を創る人づくり 32
 - ・創造性を伸ばす教育の推進
 - ・多様性を尊重する教育の推進
 - ・グローバル人材の育成
 - ・魅力ある学校づくり

- 3 すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり 39
 - ・女性の活躍促進
 - ・高齢者の社会参加の促進
 - ・若者や就職氷河期世代などへの支援
 - ・障害のある人の活躍支援
 - ・外国人県民の活躍促進
 - ・人生100年時代の学び直し
 - ・健康長寿

- 4 安心と支え合いの社会づくり 46
 - ・出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援
 - ・地域包括ケアシステムの構築支援
 - ・障害のある人の地域生活と医療・療育の支援
 - ・外国人県民の生活支援
 - ・安心できる医療体制の構築
 - ・困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援

- 5 豊かな時間を生み出す働き方が可能な社会づくり 55
 - ・新技術を活用した効率的な働き方の促進
 - ・多様で柔軟な働き方の促進
 - ・ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大

6	イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり	58
	・ステーションAiを中核とした国際的なイノベーション創出拠点の形成	
	・次世代産業の振興	
	・中小・小規模企業の持続的発展と生産性の向上	
	・産業人材の育成・確保	
	・スマート農林水産業等による生産力の強化	
	・県産農林水産物の需要拡大	
7	世界とつながるグローバルネットワークづくり	68
	・Aichi Sky Expoの活用などによるMICEの誘致・開催と国際観光都市の実現	
	・アジア競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり	
	・グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進	
	・海外からの人材獲得	
	・海外とのパートナーシップの構築	
8	スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏づくり	73
	・中京大都市圏の拠点性の向上	
	・交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携	
	・持続可能でスマートな地域づくり	
9	選ばれる魅力的な地域づくり	80
	・ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開	
	・世界に向け創造・発信する文化芸術の振興	
	・アジア競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催	
	・愛知ならではの観光の推進	
	・観光交流拠点としての機能強化、人材育成	
	・居住地として選ばれる魅力の創造・発信	
10	持続可能な地域づくり	87
	・脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進	
	・人と自然との共生の実現	
	・循環型社会づくり	
	・持続可能な社会を支える人づくり	

VI 地域別の取組方向

県内各地域の特色を踏まえた地域づくり	94
尾張地域	96
西三河地域	106
東三河地域	116

VII ビジョンの推進に当たって

(参考)愛知県の主な個別計画等	129
-----------------	-----

「あいちビジョン2030」について

〈 策定趣旨 〉

愛知県は、1958年(昭和33年)に総合的・体系的な長期計画としての「愛知県地方計画」を策定して以来、戦略的・重点的な地域づくりの羅針盤としての政策指針、さらに、戦略的な地域づくりのための「あいちビジョン2020」に至る10次にわたる中長期的な計画のもとで地域づくりに取り組んできた。

デジタル化やグローバル化が進展する中、本県が引き続き、我が国の発展をリードしていくためには、本県は、AIやIoTなどの技術革新や、100年に一度と言われる自動車産業を取り巻く環境変化を始め社会経済情勢の変化に的確に対応していくとともに、国連が掲げたSDGsの理念を踏まえて、愛知の地域づくりに取り組んでいく必要がある。

2019年12月に中国の武漢で確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界で大流行し、人々の生活や経済活動に大きな影響を与えている。感染症はもとより、切迫性の高まっている南海トラフ地震や気候変動の影響により大型化した台風、頻発化する豪雨への対応など、危機に強い地域づくりが求められている。

また、少子高齢化の進行に伴い、労働力が不足していくことが見込まれる中で、若者、女性、高齢者、障害のある人、外国人など、すべての人が活躍する社会をつくり、「人生100年時代」を見据えて、健康で安心して暮らしていける社会を実現していくことが重要になっている。

さらに、リニア中央新幹線の東京―名古屋間の開業、そして、大阪までの全線開業によって、首都圏、中京圏、関西圏の三大都市圏が一体化した、人口7千万人のスーパー・メガリージョンの形成が期待されており、愛知はそのセンターとしての役割を担っていく必要がある。そのためには、2022年秋の開業をめざすジブリパークや、2026年のアジア競技大会といった、国内外から人を呼び込むことができる数多くのビッグプロジェクトを地域の活力につなげ、首都圏に負けない魅力ある大都市圏をつくっていくことが不可欠である。

こうしたことから、現行の「あいちビジョン2020」の計画期間の終了にあたり、リニア中央新幹線が全線開業し、スーパー・メガリージョンの形成が期待される2040年頃を展望し、2030年度までに重点的に取り組むべき政策の方向性を示す、「あいちビジョン2030」を策定する。

〈 目標年度 〉

2030年度(計画期間:2021年度から2030年度まで)

◆ 愛知県の長期計画の策定経緯

1958(昭和33)年	12月	愛知県地方計画(第1次)
1962(昭和37)年	8月	愛知県新地方計画(第2次)
1970(昭和45)年	1月	第3次愛知県地方計画
1976(昭和51)年	3月	愛知県地方計画1976~1985(第4次)
1982(昭和57)年	3月	第5次愛知県地方計画
1989(平成元年)年	3月	愛知県21世紀計画(第6次愛知県地方計画)
1998(平成10)年	3月	新世紀へ飛躍~愛知2010計画(第7次)
2006(平成18)年	3月	新しい政策の指針
2010(平成22)年	3月	政策指針2010-2015
2014(平成26)年	3月	あいちビジョン2020



2020(令和2)年 11月 あいちビジョン
2030

